



MS010-00037 マルチディスプレイホルダーSTD
 MS010-00038 マルチディスプレイホルダー
 MS010-00042 マルチディスプレイホルダーBluetooth STD
 MS010-00043 マルチディスプレイホルダーBluetooth

取付け・取扱要領書

この度はマルチディスプレイホルダーをお買い上げいただきありがとうございます。
 本書には本製品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付け・取扱いを実施してください。また、本書は本製品の使用者が大切に保管してください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・仕様

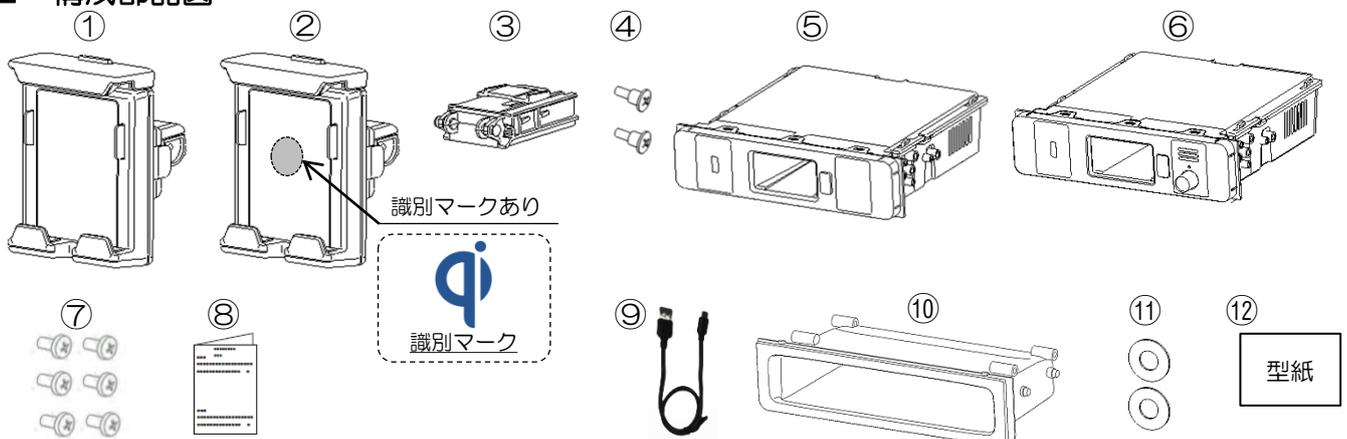
品番	仕様
MS010-00037	非接触充電なし
MS010-00038	非接触充電あり
MS010-00042	Bluetoothあり/非接触充電なし
MS010-00043	Bluetoothあり/非接触充電あり

■ 構成部品

	部品名	数量				備考
		MS010-00037	MS010-00038	MS010-00042	MS010-00043	
①	ホルダー	1	—	1	—	
②	ホルダー（非接触充電あり）	—	1	—	1	識別マークあり
③	角度調整部	1	1	1	1	
④	段付きネジ	2	2	2	2	
⑤	本体（Bluetoothなし）	1	1	—	—	
⑥	本体（Bluetoothあり）	—	—	1	1	
⑦	バインドネジ	6	6	6	6	呼び径5、首下10
⑧	取付け・取扱要領書（本書）	1	1	1	1	
⑨	USBケーブル	—	1	—	1	非接触充電対応
⑩	ボックス	1	1	1	1	
⑪	ワッシャー	2	2	2	2	86への取付けに使用
⑫	型紙	1	1	1	1	アクアへの取付けに使用

※本製品の到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



■ ボックスについて

- 付属のボックスは、以下の車両への取付け確認はとれております。その他の車両については、確認がとれておりませんので、お客様の責任の上でご使用ください。また、無理な取付けにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

取付け確認車両 (2021年1月時点)

トヨタ ヴィッツ	2005/2~
トヨタ ヴィッツ	2010/12~
トヨタ 86 ※1	2012/4~
トヨタ アクア ※2	2011/12~
トヨタ C-HR	2016/12~
トヨタ カローラフィールダー	2015/4~
トヨタ ポルテ・スパイド	2012/7~
トヨタ ハイラックス	2013/5~
トヨタ タウンエース・ライトエース	2008/2~
トヨタ サクシード・プロボックス	2014/9~

※1, 2両車両において、取付け方法は特殊な加工が必要となります。P.18, P.19をご参照ください。
最新の取付け確認車種はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

- この取付け・取扱要領書には製品を装着～使用する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになり正しくお使いください。
- お客様本人又は第三者の方が、製品及び付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品はDC12V \ominus アース車専用です。DC24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。
- 自動車の運転中にスマートフォン、タブレット等（以下、端末）の操作をしたり、画面を注視しないでください。端末の操作・確認は、必ず安全な場所に停車させて行ってください。
- 端末の画面を長く見る必要がある複雑な機能の操作、映像の閲覧は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中に画面を注視しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。
- 端末を装着したまま、自動車内に放置しないでください。高温で端末が損傷する原因となります。
- 「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 安全上、取付け、取扱上のご注意

 危険	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと人が死亡したり、重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容について書かれています。
 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと人が死亡したり、重傷※1を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと人が軽傷※2を負ったり、物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

記号の説明

 禁止	してはいけない行為を示す記号です。
 指示	必ず行っていただくことを示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

<免責事項について>

- ・第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。大切な電話番号やデータは、控えておかれることをおすすめします。
- ・当社が関与しない接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

● 安全上のご注意

<非接触充電ありのお客様へ>

⚠ 危険

- ⊘ 指定以外の方法で充電しないでください。火災・やけど・感電の原因となります。
- ⊘ お客様による分解や改造、修理をしないでください。
故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や指定の機器などに不具合が生じてても、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ⊘ 水などの液体を直接かけたり、水やペットの尿などが直接かかる場所や湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。
火災、やけど、感電、故障の原因となります。
- ⊘ その他、雨天・降雪・海岸・水辺などでの使用もご注意ください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。
- ⊘ 釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。
発火や破損の原因となります。
- ⊘ 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
発火・破裂・火災の原因となります。
- ⊘ 電源は充電用USB端子以外からとらないでください。
USBの定格DC5.0Vを超えた他の電源を使用すると、発熱・発火・故障・感電・けがの原因となります。

⚠ 警告

- ⊘ 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。強い衝撃による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
破裂・発熱・発火・故障の原因となります。
- ⊘ ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所では充電をしないでください。
ガスに引火するおそれがあります。
所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。
漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。
- ❗ 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、本製品のご使用にあたって医師とよく相談してください。
本製品により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。
- ❗ 充電する端末にカバーなどを装着している場合は取り外して使用してください。
カバーなどの材質や形状、厚み、端末とカバーの間に挟まったゴミなどの異物により正しく充電できず、
火災・やけど・けがの原因となります。
- ❗ 本製品上面および端末の電池蓋や背面カバーなどに金属製のもの（金属蒸着のシールなど）を貼り付けしないでください。
発熱による火災・故障・やけど・傷害の原因となります。
- ⊘ 本製品上面と端末の間に、金属製のストラップやクリップなど金属製のものを置かないでください。
発火・火災・傷害の原因となります。
- ⊘ 充電中に本製品を布などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災・故障・傷害の原因となります。
- ⊘ 異臭、発熱、変色、変形など、通常の状態と異なるときは、接続しているケーブルを抜き、使用を中止してください。液漏れや異臭がするときは、窓を開けるなどして換気を良くし火気から遠ざけてください。
漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。
- ❗ 使用状況・環境などにより端末へ充電中に熱くなる場合があります。直接肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ⊘ 傷んだUSBケーブルは使用しないでください。
USBケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものをのせないようにしてください。芯線が露出したり断線した場合は、必ず新品のUSBケーブルに交換してください。そのまま使用すると火災、感電などの原因になるおそれがあります。
- ⊘ 付属のUSBケーブル以外を使用しないでください。
火災・感電の原因となるおそれがあります。
- ⊘ USBケーブルを引っ張らないでください。
ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となる場合があります。
引き抜く場合にはプラグ部分を持ってください。
- ⊘ 端末を充電する場合、安全のため、運転者は運転中に端末本体の操作をしないでください。

⚠ 注意

- ❶ マイクロUSBコネクタの接続は接続方向を確認して接続してください。
発熱・発火・変形・故障の原因となる場合があります。
- ❷ お子様がお使いになるときは、保護者の方が取付け・取扱要領書をよくお読みになり、正しい使い方をご指導ください。また、使用中においても正しい使い方がされているかを確認してください。
- ❸ 通常のゴミと一緒に捨てないでください。
- ❹ 使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。
- ❺ 端末の充電には取扱説明書をよくお読みください。
本製品の取付け・取扱要領書をよくお読みになり、ご使用を開始してください。
- ❻ 充電中に、充電エリアにクレジットカード・ETCカードなどの磁気カードや磁気記録メディアなどを近付けると、磁気の影響によりデータが消えるおそれがあります。また、腕時計などの精密機器を近付けると、壊れたりするおそれがありますので、近付けないでください。

● 取付け上のご注意

⚠ 警告

- ⊖ 本製品の使用中に視界やエアバッグの動作を妨げる場合には取付けをしないでください。
交通事故や作動したエアバッグでホルダーの部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー、ディーラーに注意事項を確認してください。

⚠ 注意

- ❶ 必ず、付属ネジを使用して、指定どおりに取付けてください。付属のネジよりも長いネジを使用した場合、製品の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。
- ❷ 本製品の取付け、交換作業は必ず専門の整備工場で行ってください。
- ❸ 本製品の取付け、交換に関する車両部品の取扱いは該当車両の修理書に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
- ⊖ 本製品を工具でつかんだり、落下させるような乱暴な扱いはしないでください。傷や衝撃により破損や事故の原因となる場合があります。
- ⊖ 部品の取付け、交換の締付け作業時に電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
過度の負荷がかかり、破損や事故の原因となる場合があります。
- ⊖ 本製品を加工・改造をしての取付けは絶対におやめください。
- ❹ 本製品が著しく衝撃を受けた場合は損傷・破損のおそれがありますので、そのまま使用しないでください。

● 取扱上のご注意

- ❶ 本製品には十分な強度、耐久性を持たせてありますが保管状態や走行状況によっては故障が起こる可能性があります。保管や走行、取扱いに際しては十分にご注意ください。
- ❷ 装着後に衝突等の強い衝撃を受けた場合は直ちに使用を中止してください。
- ❸ 走行中に異常な振動や異音を感じたら直ちに安全な場所に停車してください。そのまま走行を続けると重大な事故や破損の原因となる場合があります。
- ⊖ 本製品の表面をシンナー等の有機溶剤で拭かないでください。白濁の原因となります。
- ❹ 本製品の劣化を防ぐ為、直射日光のあたる場所での長時間駐車はなるべく避けてください。
- ❺ 汚れは乾いた柔らかい布ですぐに拭取ってください。その際に強く擦らないように注意してください。
本製品に傷が付くおそれがあります。
- ❻ 汚れのひどい時は柔らかい布を水に濡らし、良く絞った後で軽く拭取るようにしてください。
- ❻ 端末を本製品に取付けて車両走行をする際は、正しく装着した状態で使用してください。急発進、急ブレーキ、カーブ、悪路などの走行時に端末が落下するなどして事故やけがの原因や、端末や周辺の物品に損害を与えるおそれがあります。
- ⊖ 自動車の運転中に端末の操作をしたり、画面を注視しないでください。端末の操作・確認は、必ず安全な場所に停車させて行ってください。
- ⊖ 端末の画面を長く見る必要がある複雑な機能の操作、映像の閲覧は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また、運転中に画面を注視しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。
- ⊖ 端末を装着したまま、自動車内に放置しないでください。高温で端末が損傷する原因となります。

● 安全上のご注意

<Bluetoothありのお客様へ>

⚠ 危険

- ⊘ お客様による分解や改造、修理をしないでください。
故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や指定の機器などに不具合が生じてても当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ⊘ 水などの液体を直接かけたり、水やペットの尿などが直接かかる場所や湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。
火災、やけど、感電、故障の原因となります。
- ⊘ その他、雨天・降雪・海岸・水辺などでの使用もご注意ください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。
- ⊘ 釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。
発火や破損の原因となります。
- ⊘ 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
発火・破裂・火災の原因となります。
- ❗ 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
- ❗ 雷が鳴りだしたら、本機に触れないでください。落雷により感電の可能性があります。
- ⊘ 通風口をふさがしないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- ⊘ 分解、改造をしないでください。交通事故や火災、感電の原因となります。
- ⊘ 本機は車載用以外で使用しないでください。発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。
アンプの放熱部に手を触れないでください。やけどの原因となることがあります。

⚠ 警告

- ⊘ 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。強い衝撃による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
破裂・発熱・発火・故障の原因となります。
- ❗ 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている方は、本製品のご使用にあたって医師とよく相談してください。
本製品により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

● 取扱上のご注意

<非接触充電ありのお客様へ>

- 付属のUSBケーブル、充電用USB端子以外では使用しないでください。
- ❗ 充電は適正な周囲温湿度（温度5℃～35℃、湿度35%～85%）の場所で行ってください。
- 水をかけないでください。防水性能を有していません。湿気の多い場所や、雨などがかかる場所での使用はおやめください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。また、ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や印刷が変質・退色するおそれがありますので、使用しないでください。
端末を充電中、通話やパケット通信・ワンセグ・フルセグなどの受信状態が悪くなる場合があります。
充電する場合は、通常の充電と比べ、充電時間が長くなる場合があります。
端末の電源をオンにして待受状態でも充電できますが、その場合充電時間は長くなります。
端末を充電中にアプリケーションなどが動作すると、充電が完了しない場合があります。
- 端末を別機器などで充電中やPC接続をしている状態で使用しないでください。
- ❗ 磁気カードなどを近づけないでください。磁気データが消える可能性があります。
- ❗ 強い磁気を帯びたものを近づけないでください。誤動作の原因になります。
- ❗ 端末に端末用のカバー・ジャケット・フィルム・シールなどが装着・貼り付けしてある場合はそれらを外してご使用ください。
- ❗ 端末に端末用のカバーやアクセサリを付けるときは、「Qi」非対応のカバーやアクセサリを付けた状態で充電しないでください。カバーやアクセサリの種類によっては充電できない場合があります。充電エリアに端末を置いて充電が行われないときは、カバーやアクセサリを外してください。
- ❗ ワイヤレス充電規格「Qi」準拠機器を使用できます。ただし、すべての「Qi」準拠機器と互換性を保証しているものではありません。
- ❗ 一度に複数の端末を充電することはできません。
- ❗ 充電する端末以外のワイヤレス充電対応機器を近づけないでください。
本製品はデータ通信に対応していません。
- ❗ 電子キーをワイヤレス充電器に近づけると、電子キーを検出できない場合があります。電子キーをワイヤレス充電器から離してください。
- ❗ ワイヤレス充電器と端末が温かくなりますが、異常ではありません。充電中に端末が温かくなったときは、端末の保護機能により、充電が停止することがあります。この場合、端末の温度が十分に下がってから、再度、充電を行ってください。

● 取扱上のご注意

<Bluetoothありのお客様へ>

- 水をかけないでください。防水性能を有しておりません。湿気の多い場所や、雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。また、ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や印刷が変質・退色するおそれがありますので、使用しないでください。
- ❗ 磁気カードなどを近づけないでください。磁気データが消える可能性があります。
- ❗ 強い磁気を帯びたものを近づけないでください。誤動作の原因になります。
- Bluetooth機器やWi-Fiが使用する2.4GHz帯はさまざまな機器で使用されています。他の機器の影響やBluetooth機器とWi-Fiを同時に使用することにより、通信速度や通信距離が低下したり、ネットワークが切れることがあります。BluetoothとWi-Fiは、同時に使用できない場合があります。
- ❗ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しないでください。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ❗ 音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しないでください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
- ❗ 本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。
 - ・本機を分解／改造すること。
 - ・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- ❗ この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- ❗ 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- ❗ 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ❗ ペースメーカー、その他医用電気機器をご使用される方は、該当の各医用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
- ❗ 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力20W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4Ωから8Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- ❗ 万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談してください。そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

■ 目次

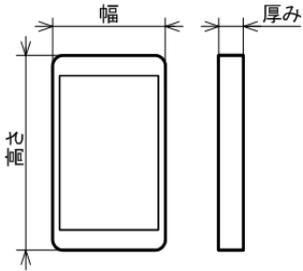
1. 表紙、構成部品表、構成部品図、取付け確認車両	1
2. 安全上、取付け、取扱いご注意	3
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具	8
4. ボックスの取扱いについて	10
5. 取付け要領	11
6. 取扱要領	14
7. 取付け要領（86のお客様へ）	18
8. 取付け要領（アクアのお客様へ）	19
9. Bluetoothの使い方	20
10. 型紙	付録

■ 取り付けに必要な工具・保護具

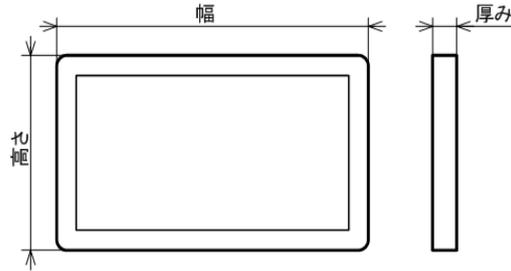
- ・ 一般工具
- ・ 加工用工具（ハサミ、カッター等）、ヤスリ
- ・ ドリル（刃：φ3.0mm、φ5.5mm、φ6.0mm）
- ・ 軍手、保護メガネ

● 本製品が対応する端末

スマートフォン（縦置き）



タブレット（ヨコ置き）



高さ : 120~180 mm以下

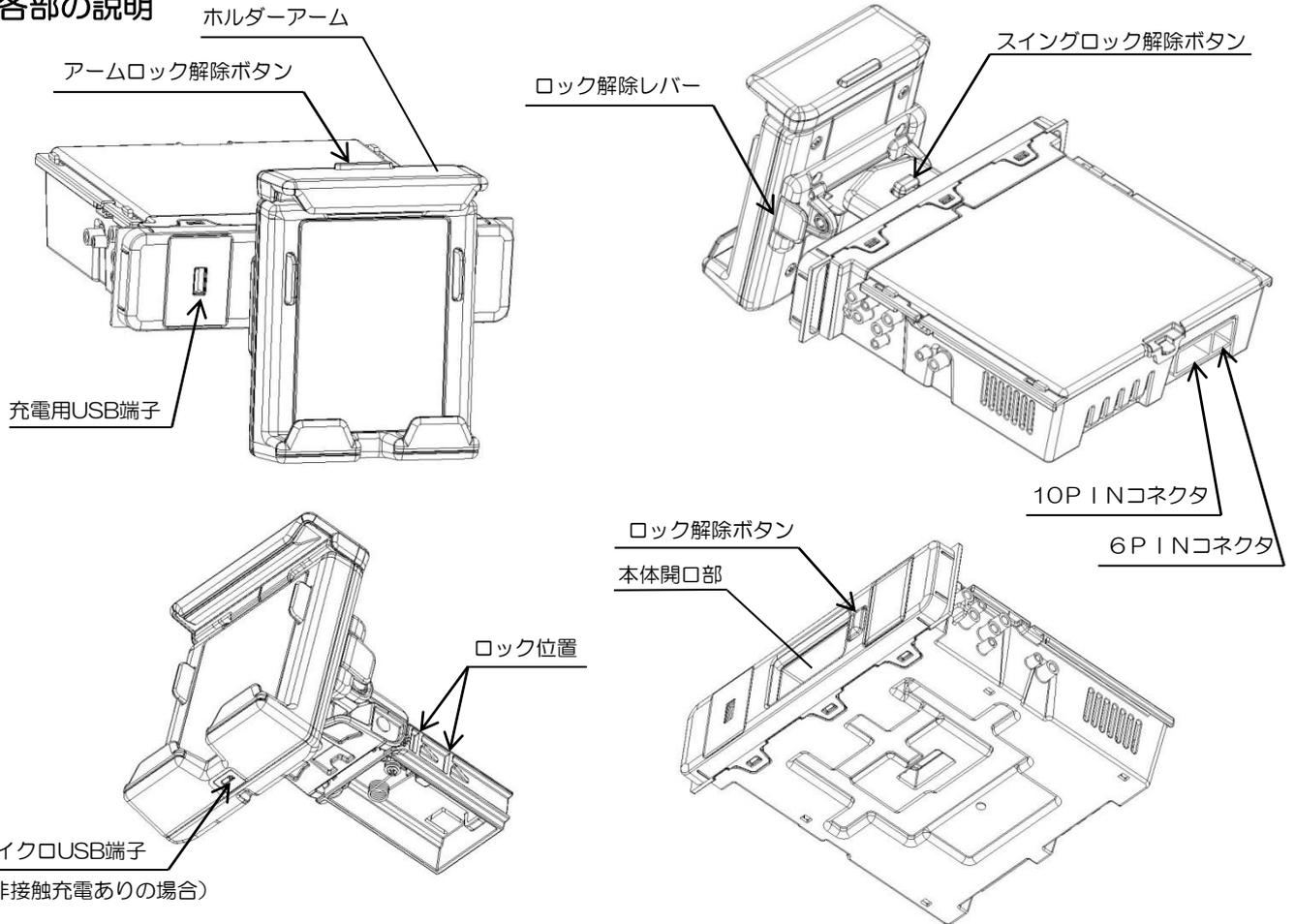
幅 : 255 mm以下

厚み : 12 mm以下

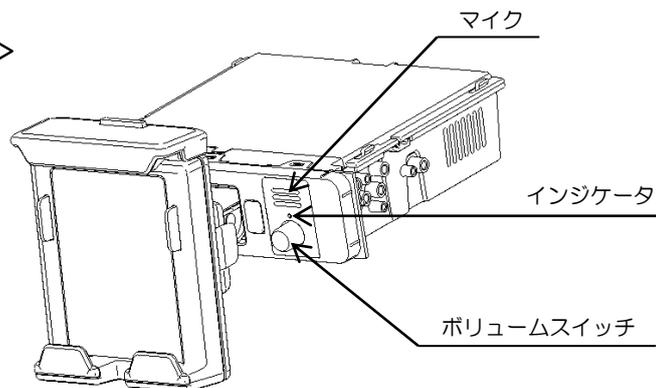
重さ : 500 g以下

※端末によっては端末のスイッチなど、突起物が干渉する場合があります。
 ※上記サイズを超える端末を無理に装着しないでください。
 ホルダーが破損する恐れがあります。

● 各部の説明

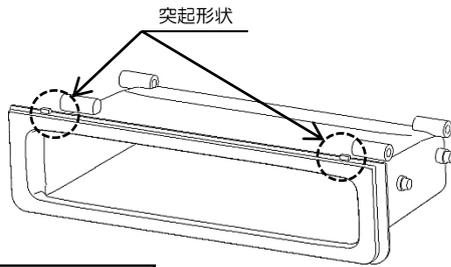


<Bluetoothありのお客様へ>

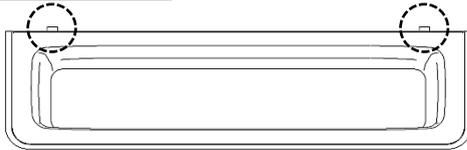


■ボックスの取扱いについて ※アクア、86の取扱いについては、P.18, P.19を併せてご参照ください。

図1



※ボックス正面視



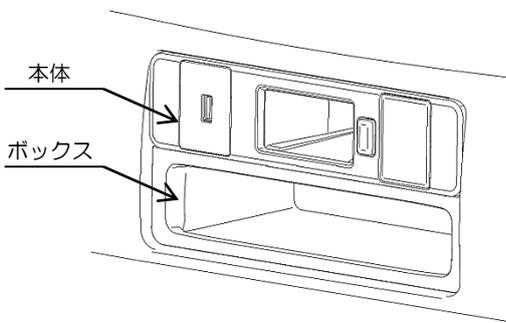
1. ボックスの加工

1. 図1.に示す、突起形状を切り落としてください。
(2カ所)

⚠ 注意

- 突起形状が残っていると、正しく取付けができません。

図2



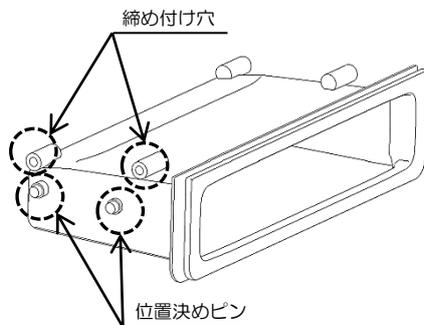
2. 本体、ボックスの配置

1. 図2.に示すように、本体を上段、ボックスを下段で取付けてください。

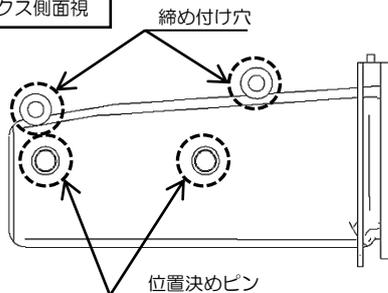
⚠ 注意

- 上下位置を入れ替えた場合、正しく取付けができません。

図3



※ボックス側面視



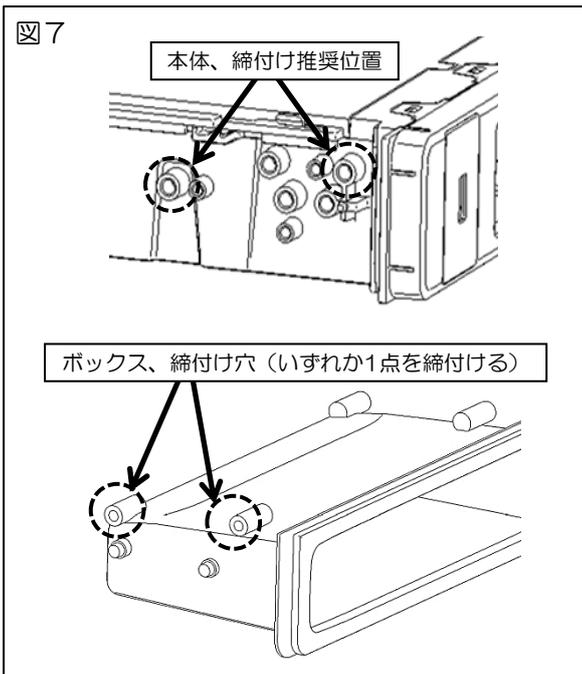
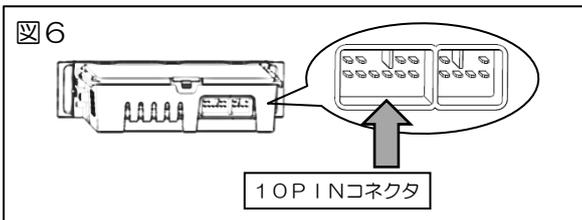
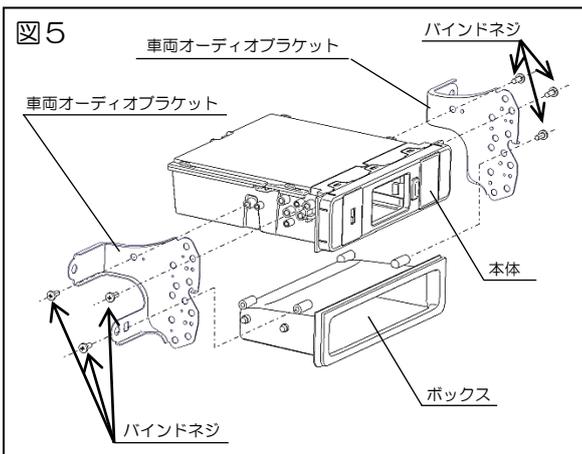
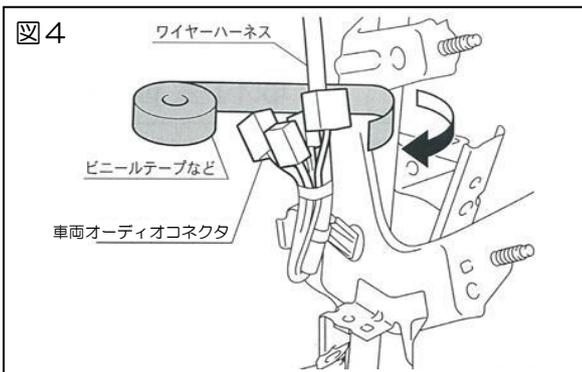
3. ボックスの取付けについて

1. 図3.に示すように、ボックスには締め付け穴と位置決めピンがあります。
2. 締め付け穴、位置決めピンを車両オーディオブラケットの穴の位置を合わせて取付けてください。

⚠ 注意

- ボックスの締め付け穴、位置決めピンの位置が、車両オーディオブラケットの穴の位置と合わない車両には、取付けができません。(適用確認車両は表紙リストをご確認ください。)
- 車両オーディオブラケットに、ボックスの締め付け穴に合わせた位置に穴を空けて、ボックスを取付けることもできます。

■取付け要領



4. バッテリーの取外し

1. 作業を開始する前にバッテリーのマイナス端子を外してください。

5. 車両部品の取外し

1. 該当車両の修理書に従い、ツメ、クリップ等を外して、車両部品を取外す。

6. 使用しないケーブルの処置

1. 図4.を参考に、固定されていないオーディオコネクタをワイヤーハーネスと共にビニールテープなどで覆うように固定し、異音防止処理をする。

⚠ 注意

- 使用しない車両オーディオコネクタが走行中に動くことにより、異音発生の原因となる場合がありますので、確実に異音防止処理を行ってください。

7. 本体の取付け

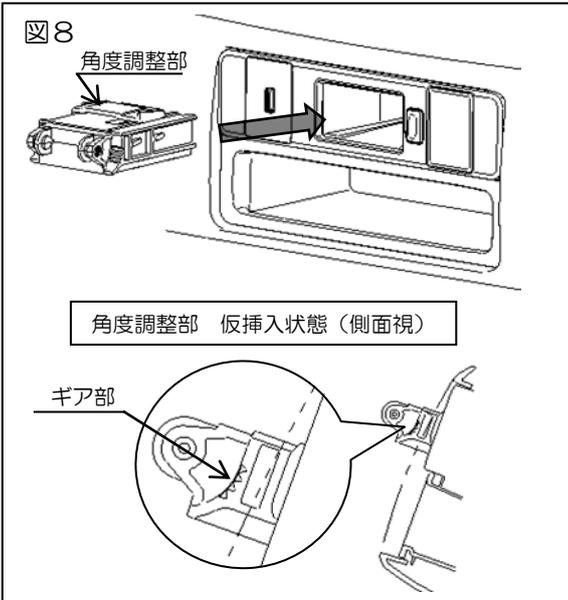
1. 図5.を参考に、付属のバインドネジ（6個）を使用して、車両オーディオブラケットを本体とボックスに組付ける。
2. 図6.に示す本体裏側の10PINコネクタに車両オーディオコネクタを接続する。
3. 車両部品の取外しと逆の手順で本体を取付ける。

⚠ 注意

- 車両取付け時は、車両オーディオブラケットを両側取付けた状態で本体とボックスを仮当てし、車両オーディオブラケットネジ穴と車両本体穴の位置を確認してください。
- 車両オーディオコネクタは、しっかり差し込んであるか確認してください。不完全な接続は、車の振動などで抜けてしまうなどの故障の原因となります。
- 本体を取付ける際、組付けた車両オーディオブラケットで車両を傷つけないように作業してください。
- バインドネジは、本体へは片側それぞれ2点、ボックスへは片側それぞれ1点締付けてください。
- 本体に車両オーディオブラケットの凸部（位置決め）が当たる場合には、必要に応じ本体をカットして取付けてください。

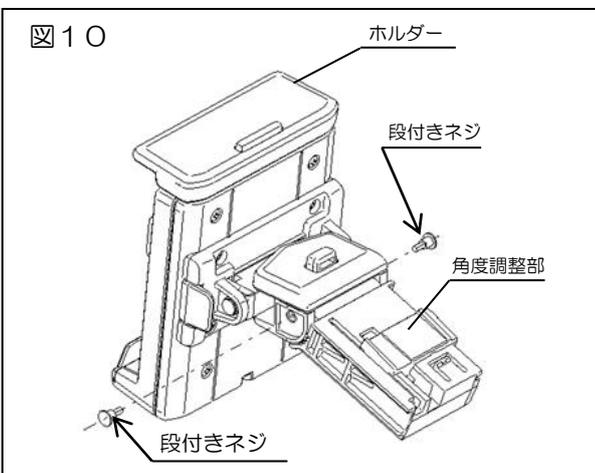
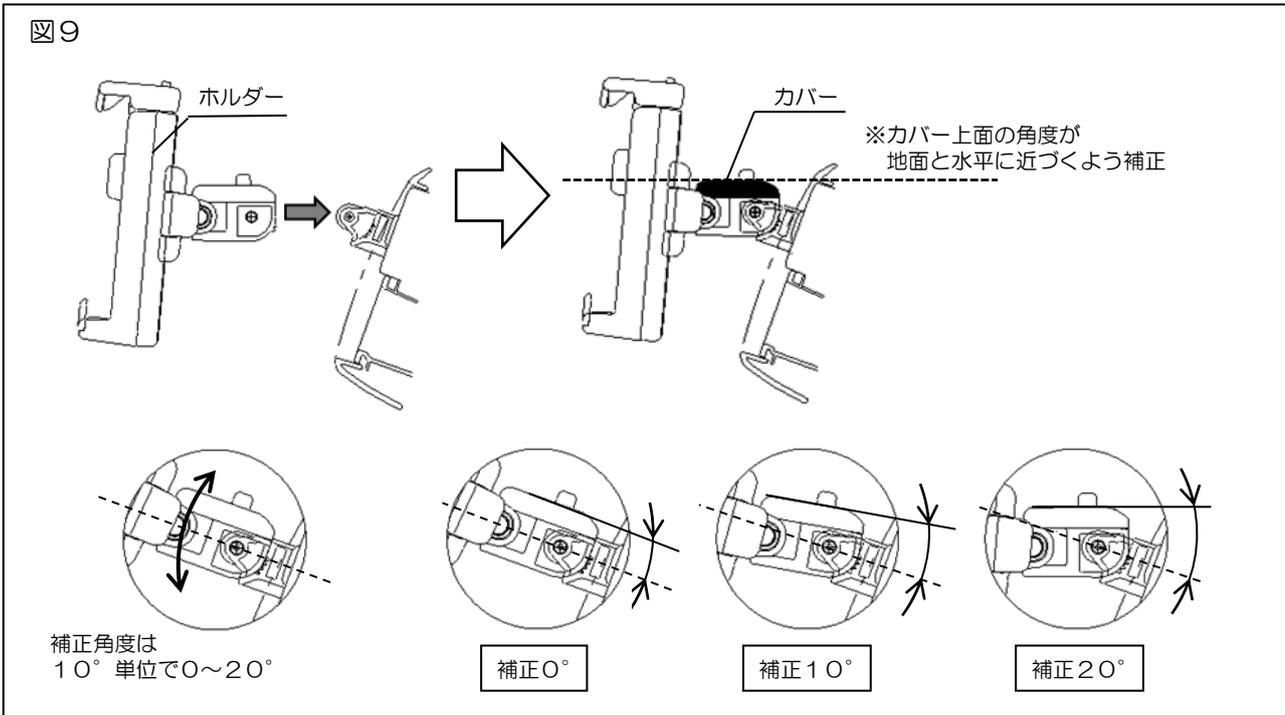
👉 アドバイス

- 図7.は、本体のバインドネジ締付けの推奨位置と、ボックスの締め付け穴を示しています。
- 他の位置に締め付けて、使用していただく事もできます。



8.ホルダーの角度補正 及び 取付け

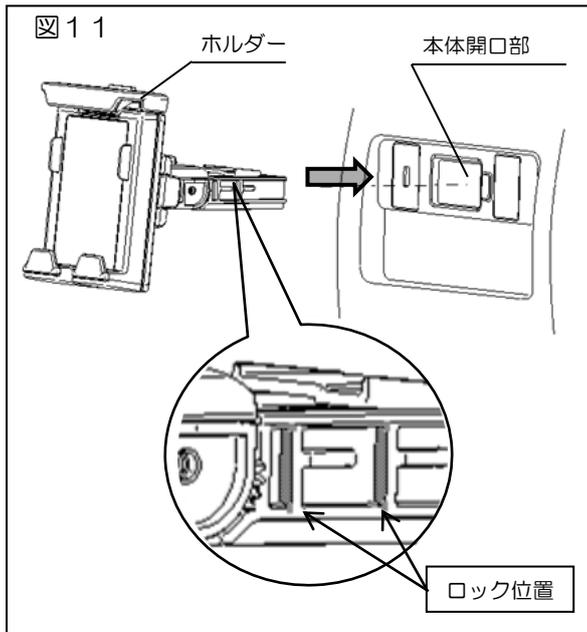
1. 車種により、オーディオ取付け部の角度が違う為、取付け角度を補正調整します。
- ① 図8.を参考に、角度調整部を本体開口部に側面から見てギア部が見える範囲内に仮挿入する。
※角度調整部を奥まで挿入すると、外しにくくなる場合があります。
- ② 図9.を参考に、ホルダーを角度調整部に仮組みし、カバー上面が地面と水平に近くなるような、ギア嵌合部を選択する。
- ③ 図10.を参考に、付属の段付きネジを使用し取付ける。



👉 アドバイス

[補正した場合]
• ホルダーをスイングさせた場合に、端末の画面は地面に対して水平になります。

[未補正の場合]
• ホルダーをスイングさせた場合に、端末の画面は地面に対して傾いて見えます。



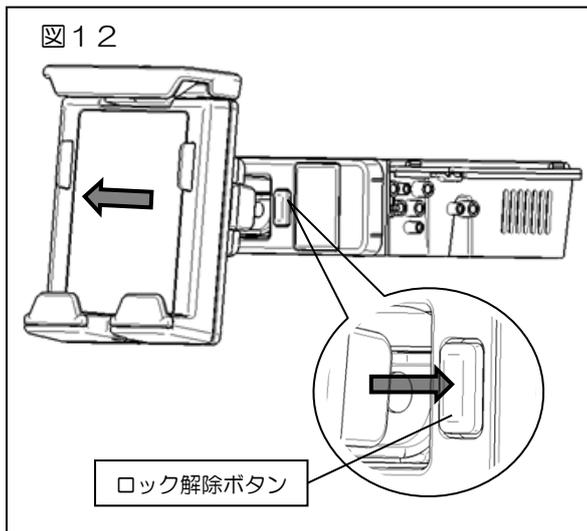
2. ホルダー取付けを行います。

- ① 図11.を参考に、ホルダーを本体開口部に挿入し奥まで挿入する。
- ② ホルダー前後ロック位置は2カ所あります。（奥のロック位置が推奨位置です。）
- ③ ホルダーを奥まで挿入した位置と、手前に20mm引いた位置でロックできます。図12.に示す、ロック解除ボタンを押したまま、ホルダーの前後位置を調整してください。

※ホルダーを奥まで挿入した場合に、インパネ等と干渉する車種については、手前ロック位置にて取付けてください。

⚠ 注意

- 手前に引っ張り、ロックが確実にかかりホルダーが抜けないか確認してください。走行時、振動等でホルダーが外れるおそれがあり、けがや事故の原因になります。

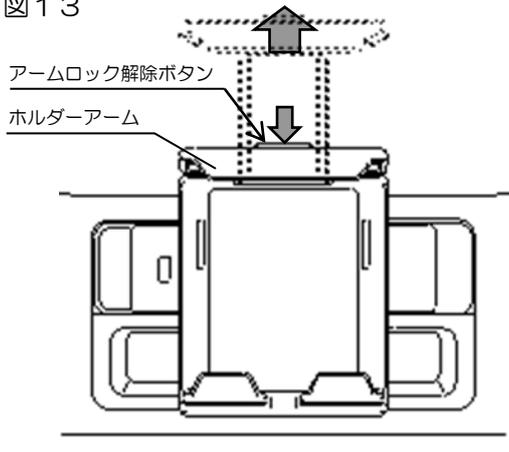


■取付け後の確認・点検

- 取付け作業後は、試走を行い異音、干渉等がないことを確認する。
- 車両取付け後は、定期的に取付け部の締め付け確認、点検を行う。
※車両定期点検時やシーズンチェック時などに行ってください。

■取扱要領

図13



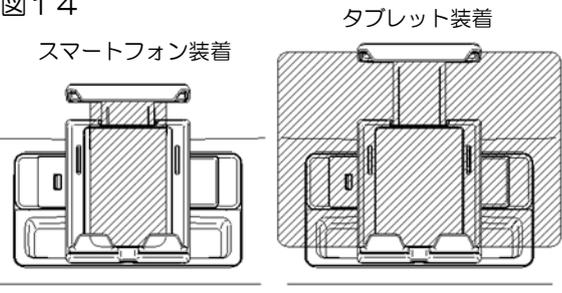
9. ホルダーアーム使用方法

- 図13.に示す、アームロック解除ボタンを押しながら、ホルダーアームを引き上げます。

⚠ 注意

- ホルダーアームは、引き上げ方向にのみロックが掛かる構造になっています。途中でロックボタンから手を放すとその場所でロックが掛かります。
- ロック解除ボタンを押さず無理な力を加えて、ホルダーアームを引き上げないでください。製品が破損し使用できなくなるおそれがあります。

図14



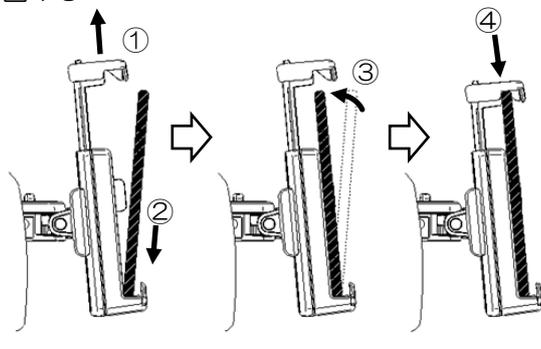
10. 端末（スマートフォン、タブレット等）の装着

- 図14.に示す中央位置に端末を装着します。

⚠ 注意

- 端末が傾いた状態で装着しないでください。
 - ホルダーの中央に装着してください。
 - 複数の端末を同時に装着しないでください。
- ※走行中に振動等で落下するおそれがあり、けがや事故の原因となります。

図15



- 図15.の手順で、

- ホルダーアームを引き上げる。
- 端末をホルダーに挿入する。
- 端末がホルダー奥の壁面に当たるように押す。
- ホルダーアームを押し下げ端末を挟むように装着する。

※装着後、端末がホルダーに固定され緩みやグラつきがないか確認してください。

⚠ 注意

- 本製品が対応する端末以外は使用しないでください。
 - 図16.のように、端末がホルダーに収まらない状態での使用は、走行時の振動等で外れる恐れがあり、けがや事故の原因になるため使用しないでください。
- 端末が固定されていない。
 - 端末がホルダーアームに引っ掛かっている。
 - 端末の厚みが大きく、ホルダー内に収まらない。

図16

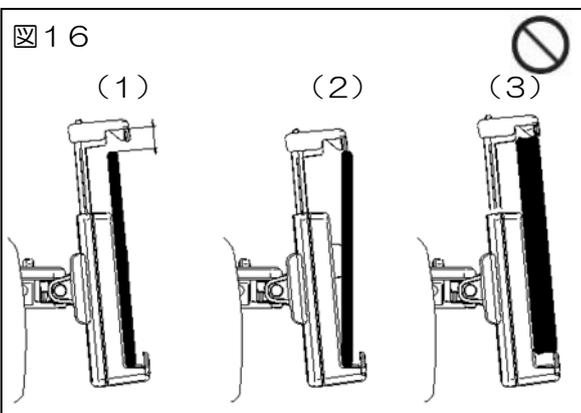
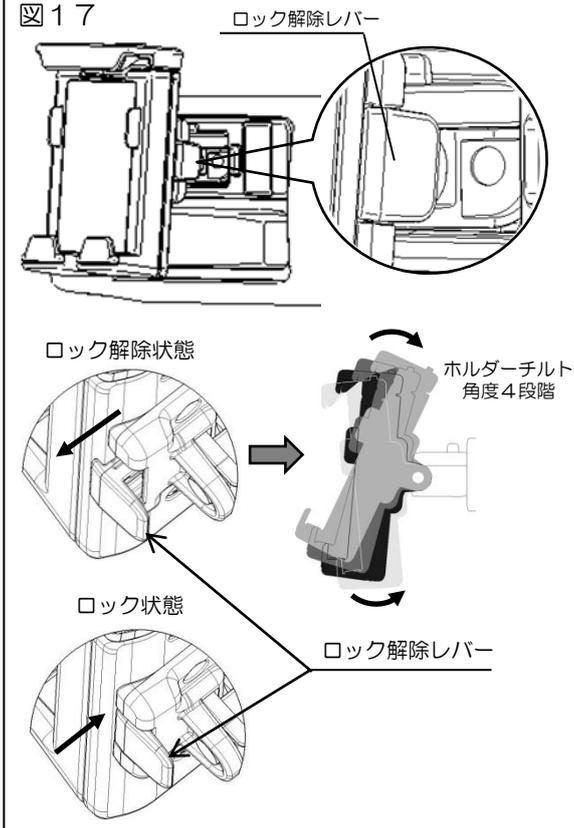


図17



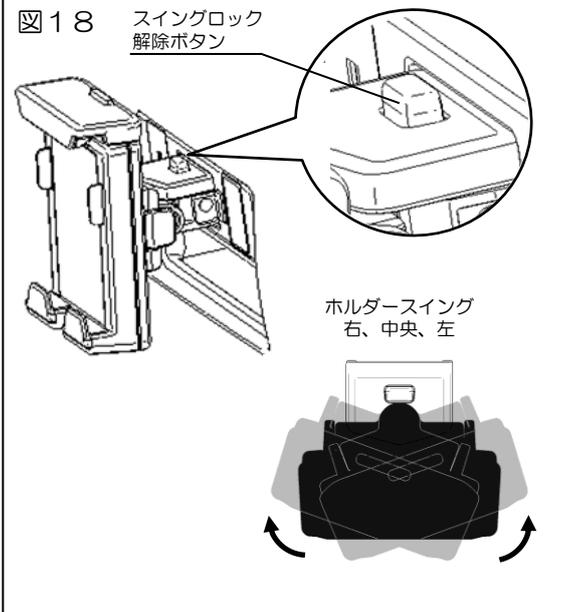
11. ホルダーチルト（上下向き）調整方法

1. 図17.に示す、ロック解除レバーを引きロックを解除する。
2. ホルダーを任意の角度に調整する。
3. ロック解除レバーを戻しロックする。

⚠ 注意

- 無理に動かさずに、必ずロックを解除した状態で操作してください。製品が破損し、使用できなくなるおそれがあります。
- ロックする前に手を放すと、重みでホルダーが下がってしまうことがあります。ホルダーを手で持ったまま、ロックしてください。

図18



12. ホルダースイング（左右向き）調整方法

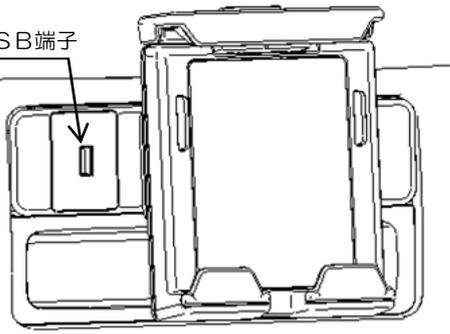
1. 図18.に示す、スイングロック解除ボタンを押しながら、ホルダーを右、中央、左、任意の角度に調整してください。
2. スイングロック解除ボタンから手を放す。（ロックが掛かります）

⚠ 注意

- 無理に動かさずに、必ずロックを解除した状態で操作してください。製品が破損し、使用できなくなるおそれがあります。

図19

充電用USB端子



13. 充電用USB端子

- 図19.に示す充電用USB端子は、DC5.0V/2.1A（消費電力 10.5W）の電源としてお使いください。
- この充電用USB端子は充電専用でありデータ転送などは行えません。また、使用する機器によっては、正常に充電できない場合があります。ご使用になる機器に付属の取扱い説明書をお読みください。

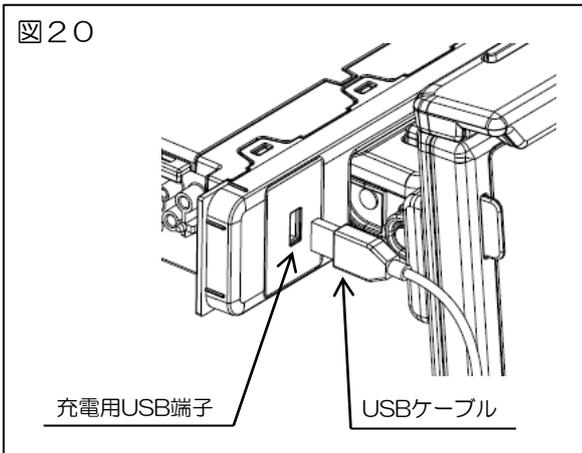
⚠ 注意

- バッテリーあがりをふせぐために
 - エンジンスイッチが“イグニッションONモード”にて使用してください。
- 充電用USB端子が正常に働かないおそれのある状況
 - DC5.0V/2.1A（消費電力 10.5W）をこえる電力を要求する機器を接続したとき。
 - パソコンと通信を行う機器を接続したとき。
 - 接続機器の電源がOFFのとき。（接続機器により異なります。）
 - 炎天下に駐車したあとなど、車室内の温度が高いとき。
- 使用する外部機器について
 - 一部機器では、充電中に充電がいったん停止後、再充電を開始する場合がありますが、故障ではありません。
- 充電用USB端子の損傷を防ぐために
 - 端子部に異物を入れないでください。
 - 水や液体をかけないでください。
※端子部に異物や液体が入ると故障やショートの原因になります。
 - 強い力や衝撃を加えないでください。
 - 分解や改造、取外しをしないでください。
- 外部機器の損傷を防ぐために
 - 機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温となり、故障の原因となります。
 - 機器が接続されているときに、外部機器や外部機器のケーブルを押し下げたり、不要な力を加えたりしないでください。

<非接触充電ありのお客様へ>

■非接触充電の使い方

図20



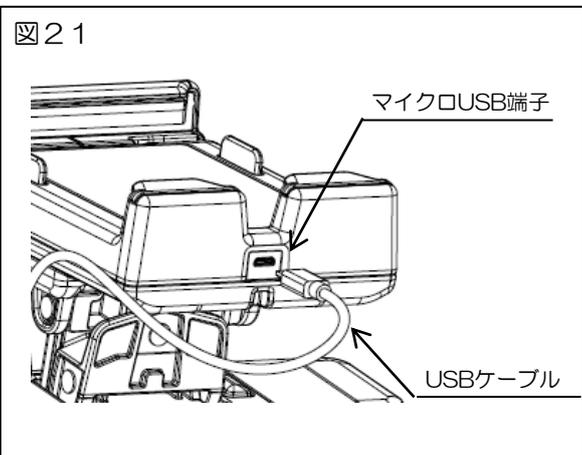
14. USBケーブルを接続する。

- 図20.に示す、充電用USB端子に付属のUSBケーブルを差し込む。
- 図21.に示す、マイクロUSB端子に付属のUSBケーブルを差し込む。

15. 端末を配置する

- 端末をホルダー中央部に置きます。
※端末の充電位置については、端末の取扱説明書にてご確認ください。
- 端末の充電状態を確認します。
※端末が充電されているかについては、端末の通知LEDや電池残量表示などで確認してください。

図21

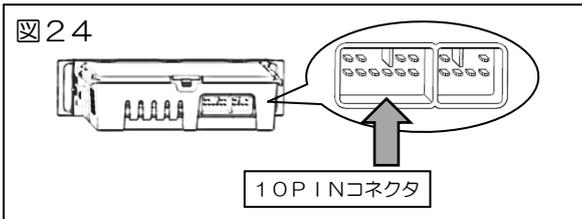
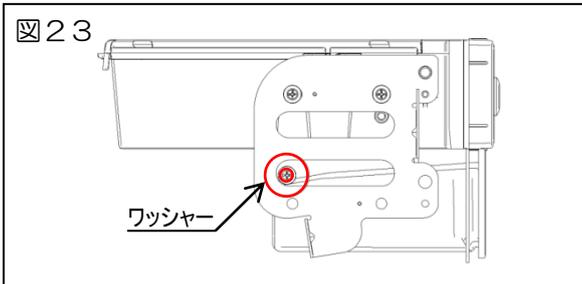
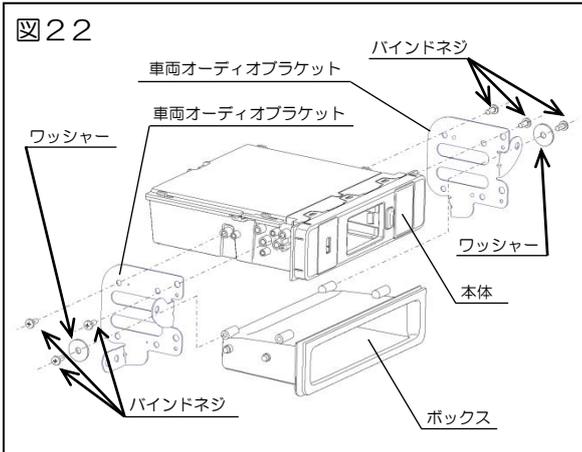


16. 仕様

- 入力 (DC IN) DC5.0V / 1.8W
- 出力 5.0W (最大)
- インターフェース マイクロUSB (B) ポート
- 使用環境 温度：5℃～35℃
湿度：35%～85%

※仕様および外観は、性能改良のため予告なく変更することがあります。

<補足資料：トヨタ 86へボックスを取付ける際>



17. 本体、ボックスの取付け

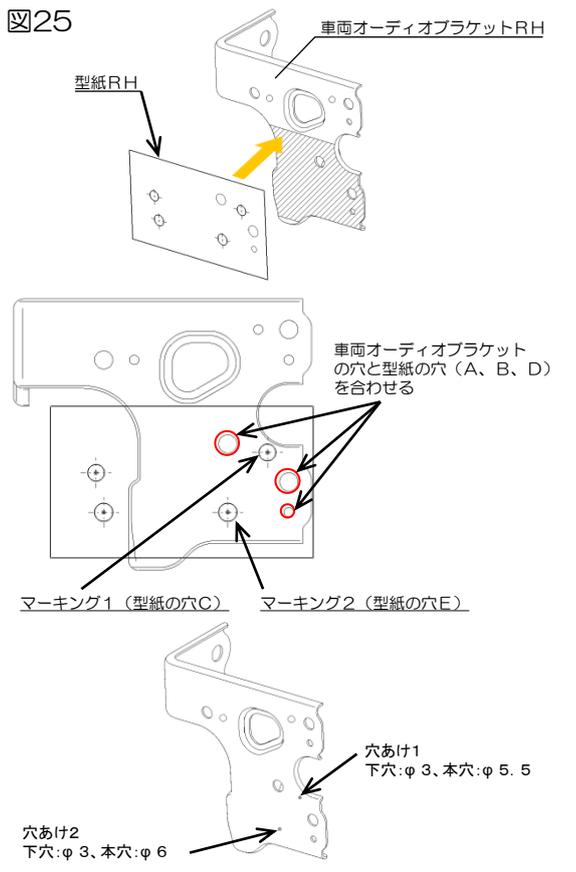
1. 図22.を参考に、付属のバインドネジ（6個）とワッシャー（2個）を使用して、車両オーディオブラケットを本体とボックスに組付ける。
ワッシャーは図23.で示す位置にお使いください。
2. 図24.に示す、本体裏側の10PINコネクタに車両オーディオコネクタを接続する。
3. 車両部品の取外しと逆の手順で本体を取付ける。

⚠ 注意

- 車両取付け時は、車両オーディオブラケットを両側取付けた状態で 本体とボックスを仮当てし、車両オーディオブラケットネジ穴と車両本体穴の位置を確認してください。
- 車両オーディオコネクタは、しっかり差し込んであるか確認してください。不完全な接続は、車の振動などで抜けてしまうなどの故障の原因となります。
- 本体を取付ける際、組付けた車両オーディオブラケットで車両を傷つけないように作業してください。
- バインドネジは、本体へは片側それぞれ2点、ボックスへは片側それぞれ1点締付けてください。
- 本体に車両オーディオブラケットの凸部（位置決め）があたる場合には、必要に応じ本体をカットして取付けてください。

<補足資料：トヨタ アクアヘボックスを取付ける際>

図25



18. 本体の取付け

1. 図25.を参考に車両オーディオブラケットRHに付録の型紙(型紙RH)を貼付ける。
2. 型紙貼付け後に車両オーディオブラケットの穴と、型紙の穴位置(A、B、D)が合っている事を確認してから、マーキング1、マーキング2の2カ所のマーキングをする。
3. 車両オーディオブラケットのマーキング1に下穴φ3.0、本穴φ5.5の順で穴をあける。マーキング2に下穴φ3.0、本穴φ6.0の順で穴をあける。それぞれの穴のバリを取り除く。
4. 図26.を参考に、バインドネジ(6個)を使用して、車両オーディオブラケットを本体とボックスに組付ける。
5. 図27.に示す本体裏側の10PINコネクタに車両オーディオコネクタを接続する。
6. 車両部品の取外しと逆の手順で本体を取付ける。

※本取付け要領は、RH側を示しており、LH側の車両オーディオブラケットも同様に穴あけを行ってください。

⚠ 注意

- バリを取り除く際には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

⚠ 注意

- 車両取付け時は、車両オーディオブラケットを両側取付けた状態で本体とボックスを仮当てし、車両オーディオブラケットネジ穴と車両本体穴の位置を確認してください。
- 車両オーディオコネクタは、しっかり差し込んであるか確認してください。不完全な接続は、車の振動などで抜けてしまうなどの故障の原因となります。
- 本体を取付ける際、組付けた車両オーディオブラケットで車両を傷つけないように作業してください。
- バインドネジは、本体へは片側それぞれ2点、ボックスへは片側それぞれ1点締付けてください。
- 本体に車両オーディオブラケットの凸部(位置決め)があたる場合には、必要に応じ本体をカットして取付けてください。

図26

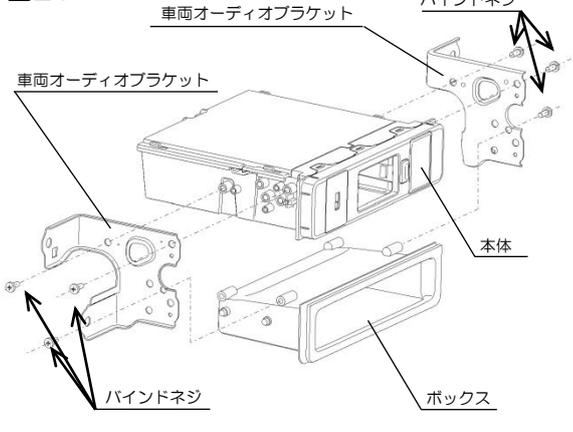
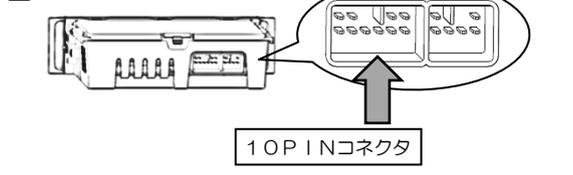


図27



<Bluetoothありのお客様へ>

■Bluetoothの使い方

19. Bluetoothについて

- Bluetooth機器を本機に接続し、ワイヤレスで音楽を聴いたり、ハンズフリー通話できます。

20. Bluetooth機器を接続する

1. 車両のパワースイッチを”アクセサリモード”または”イグニッションONモード”にする。(インジケータ点滅間隔：1秒)
2. 図28.に示すボリュームスイッチを長押し(1.5秒)して離す。(インジケータ点滅間隔：0.5秒)
3. Bluetooth機器のBluetooth設定をオンにする。
4. Bluetooth機器に表示されている接続先から、本機【MDH BT】を選択する。
5. Bluetooth接続するとインジケータが点灯します。

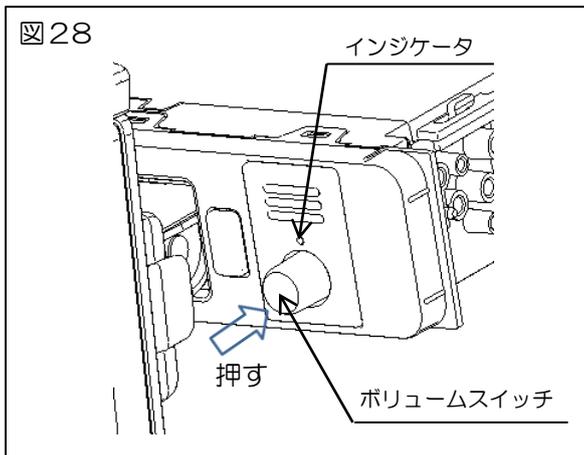
- 本機にBluetooth機器を登録してある場合、2度目以降は自動接続します。
- 車両のパワースイッチをアクセサリモードまたはONモードにした際、ペアリングモードに移行しインジケータが点滅します。
- ペアリングモードに移行後、3分間Bluetooth接続されない場合、スリープモードに移行します。
- スリープモードに移行した場合、ボリュームスイッチを押すことでペアリングモードに再移行し、インジケータが点滅します。
- 機器によっては、ペアリングの後、本機に自動的に接続されない場合があります。この場合は、手動で本機に機器を接続してください。

21. 別のBluetooth機器を接続する

1. 接続されているBluetooth機器の接続を切る。(同時に2台以上の接続はできません。)
2. 上記20項の手順2～3に従って、Bluetooth機器を本機に接続してください。(手順1は必要ありません。)

22. エコーキャンセルモードの設定

- 本機を初めてお使いになられる際は、エコーキャンセルモードの設定をお願い致します。(⇒P.21)



<Bluetoothありのお客様へ>

■エコーキャンセルモードの設定

図29

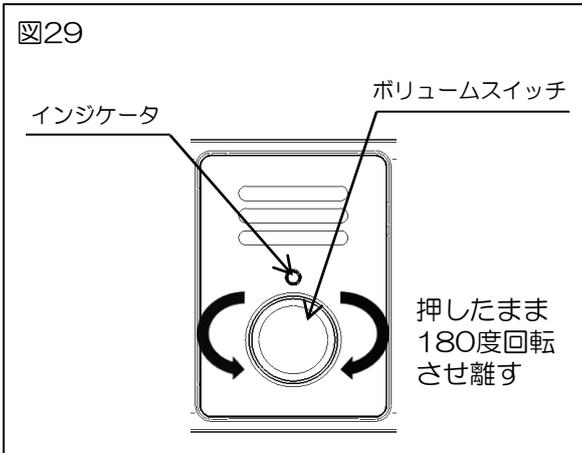
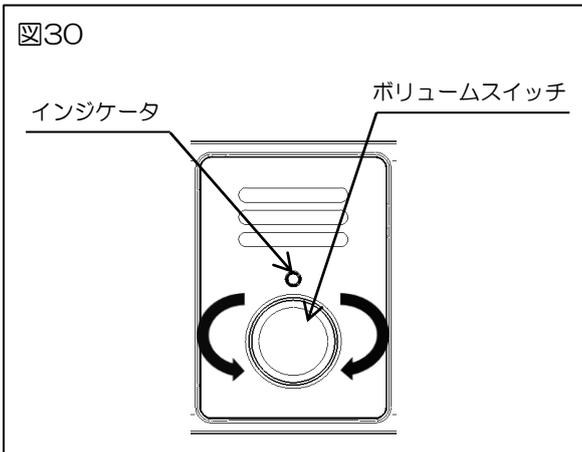


図30



■エコーキャンセルモードのインジケータ点滅一覧

選択パターン	インジケータ点滅内容
パターン①	定間隔で1回点滅
パターン②	定間隔で連続2回点滅
パターン③	定間隔で連続3回点滅

23. エコーキャンセルについて

- 本機ではハンズフリー通話時に相手側にエコーが聞こえる場合、エコーキャンセルモードを設定することでエコー低減を図ることができます。
 - エコーキャンセルモードは本機を搭載する車両によって以下の3パターンから選択することができます。
 - パターン①：セダン/SUV/ハッチバック系
 - パターン②：1BOX/ミニバン系
 - パターン③：トラック系
- 初期設定はパターン①が選択されています。
搭載する車両によってパターン①～③を選択する必要があります。

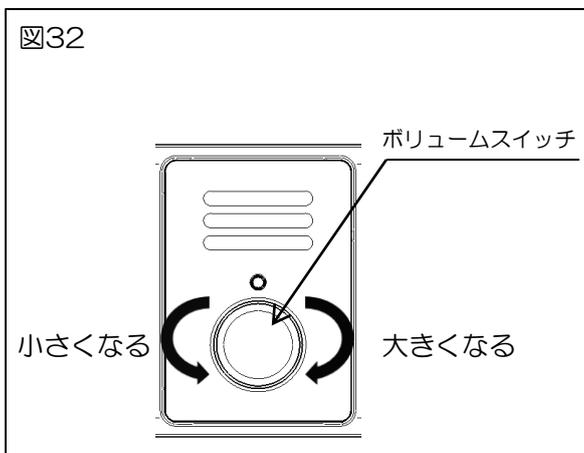
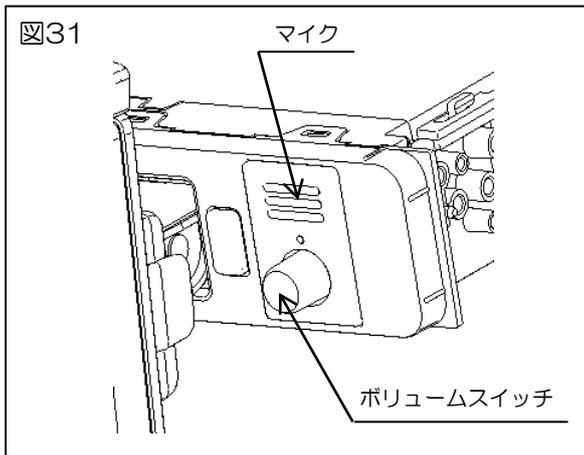
24. エコーキャンセルモードの設定

1. 図29.に示すボリュームスイッチを押す。
2. ボリュームスイッチを押したまま、車両のパワースイッチを”アクセサリモード”または”イグニッションONモード”にする。(インジケータ点滅間隔：0.25秒)
3. ボリュームスイッチを押したまま、右または左に半回転(180度回転)させる。
4. ボリュームスイッチを離すとエコーキャンセルモードに移行します。
5. 図30.に示す様にボリュームスイッチを右に1目盛りずつ回すとエコーキャンセルモードはパターン② → パターン③ → パターン①と変更され、左に1目盛りずつ回すとエコーキャンセルモードはパターン③ → パターン② → パターン①と変更されます。
6. パターンごとのインジケータの点滅内容を表で確認し、車両に合ったエコーキャンセルモードのパターンを選択してください。
7. エコーキャンセルモードのパターンが決定したら、ボリュームスイッチを5秒押すか、車両のパワースイッチをOFFモードにすることでエコーキャンセルモードを設定することができます。
8. ボリュームスイッチを5秒押してエコーキャンセルモードを設定した場合、設定後ペアリングモードに移行します。(インジケータ点滅間隔：1.0秒)

※3までの操作の中でボリュームスイッチを離してしまった場合は1の操作からやり直してください。ボリュームスイッチを半回転させる際は、ホルダーを一度外した状態だと操作スペースが確保できます。(⇒P.13の図12.に示すロック解除ボタンを押したまま、ホルダーを取り外してください。)

<Bluetoothありのお客様へ>

■携帯電話でハンズフリー通話する



25. ハンズフリー通話について

- 本機では、通話可能なBluetooth機器を使用して、ハンズフリー通話ができます。
- 最初に本機と通話可能なBluetooth機器を接続してください。
- 本機を操作して、電話をかけることはできません。
- 携帯電話を使用するときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。
- 組み合わせる通話可能なBluetooth機器によっては、操作や動作が異なります。携帯電話の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。音量が大きい場合、次のようになることがあります。
通話相手の音声がか外にもれる。
通話相手側にエコーが聞こえる。
- 着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- マイクの指向性（音を拾うエリア）は運転席になります。必ず運転席側から発話してください。それ以外の場所からの発話はマイクが認識しづらい可能性があります。

26. 電話を受ける

- 電話がかかってきたら、図31.に示すボリュームスイッチを押すことで、電話を受けることができます。

27. 電話を拒否する

- 電話がかかってきたら、ボリュームスイッチを長押し（1.5秒）することで電話を拒否することができます。

28. 通話中に別の電話を受ける（割り込み通話）

- 通話中に別の電話がかかってきたら、ボリュームスイッチを押すことで、通話中の電話を保留にし、新たな通話に切り替えることができます。また、長押し（1.5秒）することで電話を拒否することができます。

29. 割り込み通話中（前通話保留中）に電話を切り替える

- 割り込み通話中（前通話保留中）にボリュームスイッチを押すことで、保留中の通話に切り替え、割り込み通話を終話します。

30. 電話をかける

- 音声アシスタントを介してのみ可能になります。操作方法は次ページ（38. 音声アシスタントを起動する）を参照ください。

32. 電話を終了する

- 通話を終了する際は、ボリュームスイッチを押すことで通話を切断することができ、着信前の状態に戻ります。（通話前に楽曲を再生した場合は、通話終了後、自動的に楽曲が再生されます。）

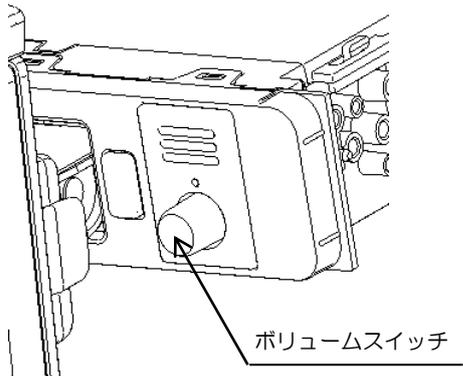
33. 電話の受話音量を調整する

- ボリュームスイッチを回転することで受話音量を調整することができます。（本製品の音量を最大にしても希望の音量が得られない場合は、ペアリングした機器の音量を調整してください。）

<Bluetoothありのお客様へ>

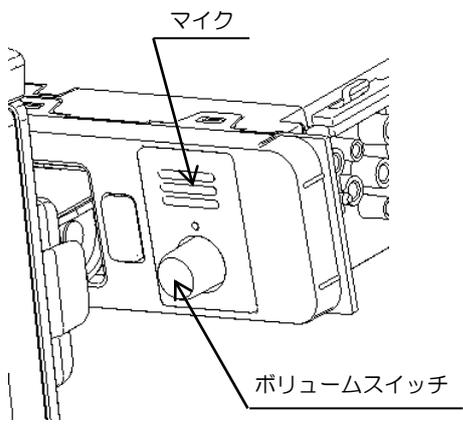
■ 楽曲の再生/停止

図33



■ 音声認識機能を使う

図34



33. 楽曲再生について

- 本機では、Bluetooth機器を使って、Bluetoothオーディオ機能を使用できます。
- Bluetooth機器の音楽再生ソフトが待機中でないと音楽は再生されません。
- 接続するBluetooth機器によっては、操作や動作が異なる場合があります。Bluetooth機器の説明書も併せてご覧ください。

34. 楽曲を再生する

- 図33.に示すボリュームスイッチを押すことで、楽曲再生（端末に依存します。）することができます。

35. 楽曲を停止/再生する

- ボリュームスイッチを押すことで、楽曲再生中の音楽を停止することができます。また、再度ボリュームスイッチを押すことで楽曲を再生することができます。

36. 楽曲の音量を調整する

- ボリュームスイッチを回転するで音量を調整することができます。（本製品の音量を最大にしても希望の音量が得られない場合は、ペアリングした機器の音量を調整してください。）

37. 音声アシスタント機能について

- 本機を使ってBluetooth機器の音声認識操作ができます。iPhoneの場合 5s以降の機種で、iPhoneでSiriの設定をONにしている場合は、Siri アイスフリー（音声認識）機能が使えます。
- 音声認識について詳しくは、Bluetooth機器の説明書をお読みください。
- 操作方法は、ご使用のBluetooth機器によって異なる場合があります。
- 発話された通り認識されたことを確認してください。
- 風切り音や外の騒音などは、発話を正しく認識できない原因になります。車の窓は閉めてください。
- 音声入力開始操作後、すぐに発話すると正しく認識できない原因になります。
- ゆっくり、はっきりと発話しないと、正しく認識できない原因になります。
- マイク（図34）の指向性（音を拾うエリア）は運転席になります。必ず運転席側から発話してください。それ以外の場所からの発話はマイクが認識しづらい可能性があります。

38. 音声アシスタントを起動する

- Bluetooth接続中に、ボリュームスイッチを長押し（1.5秒）して離すことで、音声アシスタントを起動することができます。（着信中/通話中以外の状態で音声アシスタントの起動が可能です。）

39. 音声アシスタントを終了する

- ボリュームスイッチを押すことで、音声アシスタントを終了することができます。

<Bluetoothありのお客様へ>

■商標/著作権について



- 本製品は、電波法に基づく設計認証を取得しています。
技適No：214-109606

■Bluetooth仕様

項目	値
バージョン	4.1以上
クラス	2
対応プロファイル	Advanced Audio Distribution Profile Hands-Free Profile Audio/Video Remote Control Profile

■オーディオアンプ仕様

項目	値
オーディオ出力電力	15W 以上/ch (4ch 合計出力 60W 以上)

<Bluetoothありのお客様へ>

■故障かな?と思ったら

**故障かな?と
思ったら**
修理を依頼される前に、
次の表の内容を確認し
てください。



**それでも
直らないときは**
お買い上げ店窓口まで
ご相談ください。

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して正しく接続されているか確認する。また、コードなどが極端に折れ曲がっていないか確認する。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を調節してください。 接続コードや配線を確認してください。 (端末側に音量が依存する場合があります。)
本機が誤作動する。 雑音が入る。	電波発信機器を本機に近づけて使用している。	電波発信機器を本機から離してご使用ください。
ハンズフリー通話ができない。	Bluetooth機器との接続が完了していない。	接続が完了してから操作してください。 (⇒P.20)
	Bluetooth接続した他の端末を使用中である。	同時に複数のBluetooth機器は使用できません。接続を切り換えてください。
	Bluetooth接続した端末を使用後、接続終了動作が正しく行われなかった。	正しく接続してください。
音声アシスタント機能が使えない。	Bluetooth機器との接続が完了していない。	接続が完了してから操作してください。 (⇒P.20)
	Bluetooth接続した他の端末を使用中である。	同時に複数のBluetooth機器は使用できません。接続を切り換えてください。
	Bluetooth接続した端末を使用後、接続終了動作が正しく行われなかった。	正しく接続してください。

※次ページへ続く→

<Bluetoothありのお客様へ>

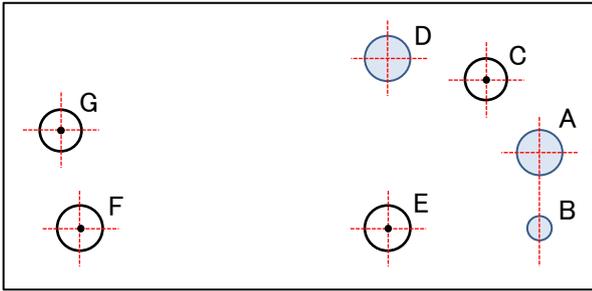
■故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
楽曲が再生できない。	Bluetooth機器との接続が完了していない。	接続が完了してから操作してください。 (⇒P.20)
	Bluetooth接続した他の端末を使用中である。	同時に複数のBluetooth機器は使用できません。接続を切り換えてください。
	Bluetooth接続した端末を使用後、接続終了動作が正しく行われなかった。	正しく接続してください。
通話品質が悪い。	電波が入りにくい。	車両を電波状況の良い場所に移動させてください。
音声アシスタント操作による電話発信ができない。	電話帳の名称読みが入力されていない。	電話帳の名称読みを入力してください。
音声や音声アシスタント機能が正しく認識されない。	周辺の騒音の影響。	静かな場所でマイクに向かって発声してください。 マイクの近くで発声してください。
Bluetooth接続できない。	Bluetoothの設定が【ON】になっていない。	Bluetooth機器のBluetoothの設定を【ON】にして接続し直してください。
ハンズフリー通話時に通話相手の音声にエコーが入る。	エコーキャンセルモードの設定が適切でない。	エコーキャンセルモードの設定を行ってください。(⇒P.21)
Bluetooth接続後、楽曲が再生できず、インジケータが早い点滅をしている。	【音楽再生後に停止する場合】 機器が発熱による異常を検知し、セーフモードになっている。	ボリュームスイッチを長押し(2秒以上)し、離すと復帰します。 復帰後は、停止前より音量を下げて使用してください。
	【音楽再生できない場合】 機器が接続の異常を検知し、セーフモードになっている。	主にスピーカー端子の接続に不備がある可能性があります。 正常にスピーカーに接続されているか確認してください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
TEL : 050-3161-2121
<http://www.trdparts.jp/>

■ 型紙

型紙RH



型紙LH

